

ライフラインの大切さ学ぶ

豊橋で3・11を
忘れない集い 災害時の備えなど啓発

東日本大震災の発生から7年が経過した11日、豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」は、防災について意識を高める催し「3・11を忘れない集い」を開催した。参加者は震災の被災者に黙とうをして復興を願ったほか、「ライフラインの大切さ」をテーマにした講演も聞き、いざという時の備えや対処法を学んだ。

(三浦ゆかり)

市上下水道局営業課の中川晋宏課長補佐は「水が出ない…安心して下さい、学べますよ!」と題して講義。東日本大震災での実例をもと

に、水道が完全に復旧するまでにひと月かかるとした上で、大規模災害を想定した同局の各設備の備えを紹介した。

また、各家庭で必

要な備えとして、飲料水の目安や応急配水時の水を入れる容器、携帯トイレの準備などを呼び掛けた。災害時以外の水が出ない時や、水道管の凍

結時の対応などについて指導した。



ライフラインの大切さを学ぶ講演(豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で)

このほか、電気ガスについてもそれぞれの専門家が話をした。講演後は、参加者全員で火災発生を想定した消防訓練を実施した。

施し、避難経路や手順などを学んだ。

平成30年3月12日(月)

東日新聞